

年頭のごあいさつ



上士幌町長

竹中 貢

新年あけましておめでとうございます。

町民のみなさまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げますとともに、日ごろから町政運営にお寄せいただいております、あたたかいご支援とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

本町は町制を施行して80年という上士幌町の歴史にとつて大変意義深い年を迎えます。この間、数多くの困難を乗り越え、上士幌町の発展に寄与された多くの先人に対しまして心より敬意を表しますとともに、ここに、新年を迎え、本町の一層の躍進を期してまいりたいと心を新たにしております。

さて、昨年を振り返りますと、世界では、ハイチの大地震をはじめ、各地では大雨、洪水など気候変動による自然災害が多発、国内では、記録的な猛暑、宮崎県では口蹄疫が発症し大きな影響を及ぼしました。町内では、この口蹄疫による農業被害への物心両面にわたる負担と、二次的影響として夏のバルーンフェスティバルの中止な

ど地域経済に大きく影響いたしました。また、春先の低温多雨や猛暑の影響により農作物の作況に著しいばらつきが認められた厳しい年でもありました。

地域の大きな出来事としては、東居辺小学校及び上音更小学校が永い歴史に幕を閉じ、上士幌小学校に統合されました。また45年が経過した旧上士幌中学校が解体、上士幌中学校校舎が全面改築され、「木」をふんだんに使った温もりのある近代的な学び舎として生まれ変わりました。

農業においては、昨年、政府は関税をなくし自由貿易協定を結ぶというTPP（環太平洋経済連携協定）の参加と協議を開始する決定をしました。このことは地域農業の崩壊にとどまらず、地域経済へも大打撃を与えるだけに、何としても阻止していかねければなりません。本町の重要な基幹産業として、足腰の強い農業をつくるために、農業基盤整備や農村農業改革に対して、引き続き国に強く要望してまいりたいと考えております。

商工業では、農林商工連携により地場産品を利

用した新たな特産品の開発や、十勝ナイタイ和牛のブランド化をはじめ、昨年オープンしたネット通販「十勝かみしほろん市場」を活用した販路拡大、また、商工会や商店街の購買力を高めるために様々な事業が展開され、本町商工業がより一層発展することを期待しています。

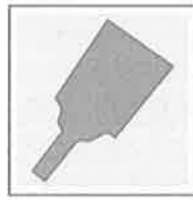
さて新しい年は、道東道（高速道路）全線開通、帯広空港にエア・ドゥの参入など人や物の流れが大きく変わるスタート年でもあります。地域の魅力づくりや情報発信など観光ほか農林商工が連携した「オールかみしほろん」として、地域経済の活性化に向けた体系的な取組みを積極的に進めてまいりたいと考えております。

依然として少子高齢化や過疎化が進行する中、高齢福祉、障害福祉、介護保険事業の計画（上士幌町三愛計画）を見直しする年となります。政権交代における新たな政策変更の動きを十分注視しながら、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを目指してまいりたいと考えております。

また、平成14年から実施しておりました第4次上士幌町総合計画が平成23年度をもって終了いたします。今年には計画の集大成の年として、総合計画の内容を精査してまいりますとともに平成24年度からスタートさせる第5次上士幌町総合計画の策定に取り組んでまいります。引き続き厳しい財政状況にあります、計画的で堅実な財政運営を基調としながら、夢と希望が持てる、そして豊富な地域資源を活かした上士幌町らしい計画を策定してまいりたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

町民のみなさまには、なお一層のご支援とご協力を賜りますとともに、町民みなさま一人一人にとつて実り多い素晴らしい年でありませうよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

年頭のごあいさつ



上士幌町議会議員

石川 正裕

町民のみなさま、新年明けましておめでとう
ございます。

平成23年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。併せて、町議会に対するご理解とご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

一昨年の日本は、衆議院議員選挙の結果、長年に渡り政権を維持した自民党から民主党を中心とした政権に変わりました。また、昨年の参議院選挙では与党の半数割れにより、衆参議会のねじれにより急がれる経済対策や地方制度改革が中々進まない状況にあります。

農業情勢については、関税を撤廃する例外なき環太平洋経済連携協定(TPP交渉)により、我が国の課題である食料安全保障や、自給率の向上に反するものであります。このことは基幹産業である農業が果たしている、本町経済の実態を考えると、その影響について心配するところ
です。

農業経営の安定的確保が示されない状況下で

のTPP交渉については議会として反対の立場であり、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に反対の意思を示した意見書を送付しました。また、昨年11月には農業関係者と共に食卓と地域社会を守る十勝大会にも参加したところです。

昨年の年末には、隣国、朝鮮民主主義人民共和国による大韓民国への民間居住区に対する無差別攻撃が行われ、尊い命と住宅等に甚大な被害をもたらしました。核の廃絶を訴え、平和宣言をしている本町としても由々しき問題であります。早い解決と世界の平和を切に願うものであります。

本町の動きとして、農林商工連携や町内の民間組織による協働の町づくりが取り組まれ、町民の一致団結した積極的な町づくりが進められてきております。特に定住化対策では、受け入れ組織として、NPO法人上士幌コンシェルジュが設立され、二地域居住・移住・定住化の受け皿としての活躍が大いに期待されるところです。この取り組みは、町内外から大きな評価を受けており、更なる発展が望まれるところであります。

昨年の大きな事業としては、東居辺小学校と上音更小学校の上士幌小学校への統合、上士幌中学校々舎の改築や、体育館の耐震化対策等が整備されました。安心で安全な教育環境が確実に進められ、子どもたちの未来に夢と希望を願うものであります。

生活に直結する主要道路網であります、市街地中心から上士幌小学校までの整備も順調に進んでいます。また、商工関係者の悲願でありました中心街から国道241号までの道路の整備についても、昨年からは北海道の事業で着工され、早期完成が望まれるところです。基幹農道も再整備が進み、町内の道路の再整備も計画的に進んでおります。

本町は、高齢化が進む中での福祉対策や少子化の現状を踏まえたより良い教育の推進、過疎化に伴う定住対策、活力のある地元商工業の推進等の課題を残しております。安心・安全・健康で暮らすために福祉政策の充実を図る必要があります。また、基幹産業である農林業の発展には、国際社会に對抗できる、強靱な基盤の整備が急がれております。

この様な中で昨年からは、平成24年度に始まる10年間の総合計画に、町民や関係団体、町内企業等の理解と協力を得ながら策定中であり、議会も町民のみなさまや行政と一体となり、先人の知恵と町民の力で、住みやすい町づくりを目指してまいります。

本町の課題の解決と開かれた議会を目指し、議員一丸となりまして取り組んで行く所存であります。本年も町民のみなさまの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民のみなさまにとりまして健康で実り多い良い年になりますよう、ご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。